

ISO 21571 : 2005 追補 1 : 2013

Foodstuffs – Methods of analysis for the detection of genetically modified organisms and derived products – Nucleic acid extraction

食品 – 遺伝子組換え体及び由来製品の検出のための分析法 – 核酸の抽出

1. 規格の概要

PCR 法等の DNA を用いた分析を行う際に必要となる分析試料からの DNA 抽出法及び抽出 DNA の確認のための定量法が規定されており、附属書には具体的な分析法として、複数の異なる試薬を用いた DNA 抽出法及び抽出 DNA の定量法が収録されている。

2. 発行状況等

2000 年 7 月に新業務項目提案が承認され、2005 年 2 月に初版が発行された。

その後、2013 年 3 月に追補 1 が発行された。

3. 規格の構成（仮訳）

まえがき

序文

1 適用範囲

2 引用規格

3 原則

3.1 一般

3.2 DNA抽出

3.3 DNA定量

4 一般試験室要求事項

5 手順

5.1 測定試料の準備

5.2 DNA抽出/精製

5.3 抽出されたDNAの定量化

5.4 抽出されたDNAの安定性

6 解釈

7 試験報告

附属書 A（参考）DNA抽出法

附属書 B（参考）抽出されたDNAの定量法

参考文献